



4歳の日本人男性に  
教わったこと

## はじめに

---

この本に出てくる先生は、4歳の日本人男性です。

生徒とは私のことで、この先生の父親です。

先生に質問をすると必ず何かを答えてくれるので、  
いろいろと質問をしてみました。

この若い先生の答えに翻弄され、時には剥き出しの真実に震撼させられました。

みなさんはどのようにお感じになるでしょう？

最初の問答は先生が4歳になって間もない2012年12月のことでした。

本日現在、掲載数は少ないですがみなさんのご意見を取り入れながら

今後、追加編集していくスタイルでこの電子書籍を作っていけたらと思っています。

## 大きい家を買いたい

---

(生徒)

大きい家を買いたいのですが、お金が足りません。  
どうしたら良いでしょうか？

(先生)

お金を貯めてから買ってください。

(生徒)

確かにその通りでした。

## カレーを作りたい

---

(生徒)

カレーライスの作り方が分かりません。作り方を教えてください。

(先生)

まずケチャップをパンにつけてお鍋でジュウジュウします。それをツルツルさんにのせて出来上がりです。

(生徒)

あの一、カレーライスのことを聞きたかったのですが。

(先生)

カレーライスの作り方を言ったのではありません。

(生徒)

えっ!?

## 信号に4つ目の色があったら？

---

(生徒)

信号は赤は止まれ、青は進め、黄色は注意ですよ。

では信号に4つ目の色があつたとしたら何色でしょう？

(先生)

白ですね。

(生徒)

ほう、白ですか。どんな時に光るんですか？

(先生)

そうですね。雪が降った時に光ります。雪が降ってるから気をつけて下さ〜い！という意味です。

(生徒)

なるほど。ありがとうございました。

## マラソンをしたいのに外が寒い

---

(生徒) マラソンをしたいのですが、外が寒くて外に出たくありません。  
どうしたら良いでしょう？

(先生)  
木に火を付けて、それを持って走るといいです。

(生徒)  
あ！オリンピックの聖火ランナーみたいにですか？

(先生)  
木に火を付けて、片方の手に持って、こういう風にグルグルとやりながら、  
ほら、こんな風にグルグルとやりながら、暖まって、走るんです。

(生徒)  
やっぱり聖火ランナーみたいに走るんですね。  
いいかもしれないですね。

## 頭がハゲてきた場合

---

(生徒) 頭の毛が抜けてきまして、ハゲ頭になりそうなのですが、  
どうしたらよいでしょう？

(先生)  
そういう場合は、葉っぱを頭につけてください。

(生徒)  
葉っぱですか、余計目立ちませんか？

(先生)  
木みたいな、ポニョポニョとした葉っぱです。  
こういうポニョポニョした木みたいな葉っぱをつけるんです。

(生徒)  
どういう葉っぱだろう。申し分けありませんが、絵で描いてもらってもいいのでしょうか？

(先生)  
いいでしょう。

※ということで下のようなイラストを書いて頂きました。









## 仕事で家に帰れない

---

(生徒)

仕事が終わらず、家になかなか帰れません。  
どうしたらよいのでしょうか？

(先生)

魔法を使って帰りましょう。

(生徒)

その魔法のやり方を教えて頂いてもよいのでしょうか？

(先生)

はい。教えます。  
まず最初に、  
そ〜〜〜っと後ろの方へ隠れます。  
そ〜〜〜っとです。  
そして、  
そ〜〜〜っとドアを開けます。そ〜〜〜っと。  
そして、静かな方へ歩いていきます。

(生徒)

静かな方へ？

(先生)

はい。そうです。  
そうすると家に帰れます。

(生徒)

次の日怒られそうですね？  
なんで昨日帰ったんだ！って怒られたらなんて言えばよいでしょう？

(先生)

.....。

(生徒)

怒られたらなんて言えばよいですか？

(先生)

.....。.....。何も言いません。

(生徒)

なるほど。すごいですね。

## プレゼントをあげたい

---

(生徒)

好きな子にプレゼントをあげたいのですが何がいいでしょう？

(先生)

誰にですか？

(生徒)

そうですね。20 歳くらいの女の子の場合ではどうでしょう？

(先生)

ショートケーキですね。結婚できます。

(生徒)

そうですか。ではお母さんくらいの女の子の人には何がいいでしょう？

(先生)

チョコレートケーキです。

(生徒)

またケーキ。では、お父さんにプレゼントをあげたい場合は何がいいでしょう？

(先生)

ケーキじゃなくてもいいですか？

(生徒)

もちろんです。

(先生)

「オシゴトお絵書き」です。

（生徒）

「オシゴトお絵書き」というのはなんでしょう？

（先生）

文字とかオシゴト場の言葉とか。子供は書けない。こんな太い紙！（30センチくらいに手を広げる）。

（生徒）

紙が分厚いということですか？

（先生）

そう！本当はこのくらい！（1メートルくらい手を広げる）。

紙がいっぱい入ってるからすごい大きい！

（生徒）

すごい大きいんですね。

（先生）

じゅう、ひゃくめーとるです。

じゅう、ひゃくえんだまです。

何よりもおおきい！

あまりにも重いからおとととあっっ～てなっちゃって投げちゃう！

（生徒）

投げちゃう？

（先生）

重くて重くて、おととととと～となって投げちゃう。

重い！じゅう、ひゃく。おととととと～となって投げちゃう。

（生徒）

重くて投げてしまうんですね。  
女の子にもケーキじゃなくてもいいのですが。  
なにか良いプレゼントはありますか？

（先生）  
女の子はケーキがいいです。



## お風呂に入りたくない

---

(生徒)

お風呂に入りたくないなーという時があるのですが、どうすれば良いでしょう？

(先生)

入っちゃえばいい。

(生徒)

眠かったり、寒かったり、面倒くさかったりして入りたくない時があるんですよ。

(先生)

面倒くさいまま入っちゃえばいい。  
気持ちいいですよ。たのしいですよ。

(生徒)

お風呂ってなにが楽しいですか？

(先生)

お風呂に入ること。お風呂のお風呂に入ること。

(生徒)

「お風呂のお風呂」というのは、「浴室の湯船」のことですよ。

(先生)

シャワーに入ること。遊ぶこと。一番楽しい遊びは、タオルとスポンジとストローで、  
カキ氷とアイスクリームをつくることです。それをやれば楽しいです。

(生徒)

わかりました。やってみます。



（生徒）

外国に旅行にいきたいんですけど、あまりお金がありません。どうすれば行けるでしょう？

（先生）

明日の朝、時間があったら、外国のＴシャツを着てください。

（生徒）

外国のＴシャツ？

（先生）

それで外国に行きたいということがわかります。

（生徒）

なるほど。

（先生）

それから本屋さんで外国の地図を買って、行きたい外国に行く船に乗ってください。

（生徒）

でもお金がないので乗れないんですよー。

（先生）

お金持ちの船にのってお金を貰えばいいんです。

（生徒）

それはいいですね！

犬みたいに早く走りたい

---

(生徒)

犬みたいに早く走りたいのですが、どうすればよいでしょう？

(先生)

自分の力で、練習をすればいいです。

(生徒)

どういう練習でしょうか？

(先生)

これくらい走る。(3歩小刻みに)

(先生)

そうしたら、これくらい走る。(5歩くらい小刻みに)

(先生)

それから、こーのくらい走る。(10歩くらい小刻みに。手も激しく)

(先生)

それでコーウ！（ダダダダダダダダダダダ！！！！遠くへ走り去る先生）

## 鳥みたいに空を飛びたい

---

(生徒)

鳥みたいに空を飛びたいのですが、どうすれば良いでしょう？

(先生)

練習をすればいいです。

(生徒)

どういう練習でしょう？

(先生)

こうです。(手をバタバタしてジャンプ)

(先生)

こうです。(手をバタバタしてジャンプ。さっきより高く)

(先生)

クッ、こうです。(手をバタバタしてジャンプ。着地をなるべく長びかせるようにひざを曲げて)

(先生)

・・・ングっです。(手をバタバタしてジャンプ。ひざを成るべく曲げながら)

(先生)

・・・・・・ハアハアアアアア (手をバタバタしてジャンプ。力を振り絞って)

フラれた友人をどうやって元気づける？

---

（生徒）

友達が好きな人に嫌いと言われて泣いているのですが、  
どうやったら元気になってくれるでしょうか？

（先生）

変なことをやらせればいい！

（生徒）

変なこと？

（先生）

あるところにウサギがいました。ウサギは耳がありませんでした。

あ、耳が生えてきました。

・・・と思ったら・・・カブでした。

とかいうことをやらせればいい。そうしたら笑っちゃう。

（生徒）

耳かと思ったら野菜のカブだったんですね。

（先生）

そういうお話を言わせて笑わせるんです。

（生徒）

なるほど。本当に笑っちゃうかもしれないですね。



遅刻して「もう来なくていい！」と怒られたら

---

（生徒）

会社に遅刻をしてしまって、偉い人に「もう来なくていい！」と怒られたらどうすればよいでしょう？

（先生）

そう言われても行きましょう。

（生徒）

でも、また遅刻して怒られてしまったらどうしましょう。

（先生）

そう言われても言われても、何度も何度も行きましょう。

（生徒）

そうなんですね。

（先生）

何度も何度も来ていると偉い人が許してくれます。

（生徒）

大変参考になりました。



飼っていた犬が死んでしまって悲しい時

---

（生徒）

飼っていた犬が死んでしまって悲しい時。どうしたら元気になれるでしょうか？

（先生）

どうしても悲しい時は同じ種類の犬を飼ってください。同じ犬だと思って元気がでます。

（生徒）

でも同じ種類の犬だったとしても顔はやっぱり違いますし、同じ犬には見えないと思うのですが。。

（先生）

たとえば人間だって小さい頃と大人になった時では顔が違うでしょう？体も違うでしょう？

それでも同じ人間だと思えるのですから、犬だって少しくらい見た目が違ったって関係ないんです。

（生徒）

おお！

（先生）

きっと元気がでます。

（生徒）

そんな気がしてきました。

ワキ毛が生えてきた。もしくは生えてこない。

---

(生徒)

中学生くらいのお兄さんの話なのですが、  
最近ワキの下から毛が生えてきて恥ずかしくて嫌なんだそうです。  
どうやったら元気になれるですかね？

(先生)

毛が生えた方がカッコイイんだよ～！と教えてあげます。

(生徒)

なるほど。  
では逆に、毛がなかなか生えてこなくて恥ずかしがっているお兄さんもいるのですが、その場合はどうしましょう？

(先生)

それはですね。今すでにカッコイイのに、これから先、もっとカッコヨクなるということですね！  
という風に教えてあげます。

(生徒)

この子は5ヵ月の赤ちゃんなのですが、ご飯をじーっと見えていますね。

(先生)

手をパチンと合わせて神さまにお願いをしているみたいですね。

(生徒)

そうですね。まだオッパイしか飲んでいないので早くご飯を食べたいのでしょうか？

(先生) ※赤ちゃんに向かって

ねえ～！ ご飯食べたいよって神さまにお願いしているの？ そうなのね？

あのね。

神さまはね。なんでも願い事を聞いてくれるわけじゃないんだよ。

まだできないことを神さまができるようにしてくれるわけじゃないんだよ。

できることしか神さまはできるようにしてくれないんだよ。

(生徒)

先生、いま、いいことを言ってますね。

(先生)

そうです。大人でも同じです。

できないことを神さまにお願いしてもできません。

できることしか神さまはできるようにしてくれないのです。

(生徒)

ありがとうございました。

※この後のページにサトウ山の Kindle 本「チャコがよかったこと。」の紹介があります。

まだご覧になっていない方は是非ご覧ください。次回更新をお楽しみに！

## 【サトウ山の本のご紹介】 チャコが、いいかったこと。

---



『チャコが、いいかったこと。』（kindle 版）100 円 佐藤健二郎

犬のチャコは、朝からワンワンワン。お父さんもお母さんも子供までお散歩に連れて行ったのですが、まだ、ワンワンいっています。チャコはなんていってるんでしょうね？全編ひらがな, とカタカナなので小さい子でも楽しめます。

題名は悲しいお話っぽいですが、中身はさくっと読めてクスッと笑える気軽な写真絵本です。犬が好きで、小さなお子様がいる方に特におすすめです。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00AWDAPAK>



4 歳の先生も、3 歳だったときの写真が使われています。

その他の内容や制作環境などを[サトウ山のブログ](#)で書いています。

「チャコが、いいかったこと。(サトウ山ブログ)」

4歳の日本人男性に教わったこと

<http://p.booklog.jp/book/62498>

著者：サトウ山

ブログ：<http://satouyama.jp>

フェイスブックページ：<http://www.facebook.com/satouyama>

ツイッター：<http://twitter.com/satouyama>

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kk0462/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/62498>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/62498>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ